

／コープこうべのビジョン／

ターゲット2030 1次案



テーマ1

人と人がつながり助け合える

ありたいくらし・地域

- 「楽しく」「幸せ」な毎日を「笑顔」で送りたい
- 誰一人取り残さない地域社会でありたい
- 「しぜん」と「ゆるやかに」つながり合いたい

みんなが(で)できること

助け合える「仕組み」や「機会」を地域社会とともにつくる

- 人が出会える、くらしの拠点づくり
- 地域諸団体と連携した有償・無償の活動づくり

さまざまな資源をつなぐ

- 「人」「モノ」「コト」「情報」をマッチングするプラットフォームの役割

くらしのインフラとしての役割

- 多様なくらしに対応できる(次世代につながる)場

テーマ2

健康でいきいきとした毎日

ありたいくらし・地域

- すべての人がいきいきと、自分らしく生きることができる地域社会でありたい
- 地域社会に貢献できる体と心の健康を保ちたい
- みんながつどえる・交流できる“場”でありたい

みんなが(で)できること

笑顔あふれる食卓の提案

- より良い“食”のあり方追求とくらしの提案
- 時代に即した食の提案と食文化の伝承

情報社会だからこそ誠実で分かりやすいカタチで伝える

- 食の安全に関する情報を正しく伝える
- 生活に関するよりよい情報をアップデートして伝える
- 多様な課題(介護・育児など)に対応した、食とくらしの提案

だれもが利用しやすい場の提供

- 楽しくつどえる“場”、だれもが利用しやすい“仕組み”づくり

『ターゲット2030』づくり

2019年度は、9092人の組合員・役職員から“2030年のありたいくらし・地域”についての声を聞き、以下の4つのテーマが見えてきました。

2020年4月には、その4つのテーマに関して、総代のみなさんから声をお寄せいただき1次案が完成しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による社会の変化、新しい生活様式への転換をしっかりと受け止め、新たな視点、発想を取り入れながら、みんなで知恵を寄せ合って、いつまでもこのまちに暮らし続けたいと思える地域にしたいと思っています。



『ターゲット2030』とは

2030年、私たちが暮らす地域はどうあってほしいか。その中で、どんなくらしをしていきたいか。そんなことに一人ひとりが思いをはせ、2030年のありたい姿やその実現に向けて、私たちに何ができるかを示すビジョンが『ターゲット2030』です。

テーマ3

持続的なまちと自然との共生

ありたいくらし・地域

- 多様な“いのち”を育む豊かな自然を未来につなぎたい
- 限りある資源を大切に、地球環境を守りたい
- 人と自然が共生する地域でいたい

みんなが(で)できること

より良い消費行動・運動につながる消費のスタイリスト

- 地球環境に配慮した、くらし方の提案
- 環境問題を学び、食品ロスをなくす取り組み
- 適量・少量、食育・住育の提案

地域資源を循環させるコーディネーター

- 活動エリア内の資源を活用し、生産者と消費者のモノ・コト・情報のシェアをサポート
- 限りある資源を取りつくさない食とくらしの提案

防災力NO.1の地域づくり

- 防災・減災の啓発と防災人材の育成
- 備えのある地域の拠点

テーマ4

みんなが安心できる

ありたいくらし・地域

- 子どもたちが明るい笑顔で暮らせる・学べる・遊べる地域でいたい
- 子育て、介護、障がいの不安があっても、暮らしやすい地域社会でいたい
- 世界が“平和”であり続けたい

みんなが(で)できること

安心して子育てができるよう世代を超えてつながる場づくり

- お困りごとを気軽に相談できる交流の場づくり(地域で、オンライン上で)

誰もが働きやすい社会づくり

- 時間や場所にしばられない働き方の実現
- 子育て、介護、障がいの不安があっても得意分野を生かした働き方が実現できる仕組みづくり

世界平和を願う運動体

- 誰もが参加し、取り組みやすい平和活動の枠組みづくり
- 平和とより良いくらしの実現を追求し続ける